

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	NOROCON ALMIGHTY
製品コード	ARCH DETERGENT AL
会社名	ガーデンシステム株式会社
住所	東京都世田谷区大蔵1-16-10 4F
電話番号	03-6450-2919
緊急時の電話番号	090-2151-6276
FAX番号	03-3749-2025
メールアドレス	info@norocon.net
推奨用途及び使用上の制限	工業用、車用洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない。

分類実施日

GHS分類マニュアル(H22 改訂版)を使用

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類対象外
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分5
急性毒性(経皮)	区分5
急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分1A
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	
(気道刺激性、呼吸器系)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	
(骨、歯、呼吸器系)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性	水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性 オゾン層への有害性	分類できない 分類できない 分類できない
ラベル要素 絵表示又はシンボル		
注意喚起語 危険有害性情報	警告 飲み込むと有害の恐れ 皮膚に接触すると有害のおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 遺伝性疾患のおそれ	
注意書き 【安全対策】	取扱注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用すること。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。	
【応急措置】	飲み込んだ場合:口をすすぐ。 気分が悪いときは医師の処置を受ける。 眼に入った場合:流水で数分間洗い流す。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 医師の処置を受ける。 皮膚に付着した場合:汚染された衣類及び付着物を取り除く。 皮膚を流水で洗う。 皮膚刺激が生じた場合は、医師の処置を受ける。 取り扱った後、手を洗う。 曝露した場合:医師の処置を受ける。 気分が悪いときは、医師の処置を受ける。	
【保管】	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管する。	
【廃棄】	内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。  都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること	
【国・地域情報】		

### 3. 組成及び成分情報

- 1) 化学物質・混合物の区別 水溶液混合物
- 2) 天然由来界面活性剤、食添アルコール、水及びその他を成分とする混合物

成分	濃度(%)	CAS 番号	官報公示整理番号
D-グルコピラノース	5%以下	68515-73-1	-
エタノール	10%以下	64-17-5	-
水、その他(アルキルグリコシド等)	残分	非公開	非公開

### 4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪くなった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。異常が改善しない時は、医師の診断を受けること

皮膚に付着した場合

皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。 2/5

目に入った場合	<p>水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。</p>
飲み込んだ場合	<p>口をすすぐこと。嘔吐が生じる場合、嘔吐物が気道に入るのを防ぐために患者をうつ伏せにするか、または左側を下にして寝かせる。気分が悪く、症状が改善しない時は、医師の診断を受けること。</p>
予想される急性症状及び遅発性症状	<p>眼、皮膚に対しては、発赤、痛み 経口摂取については下痢、腹痛</p>
<p>最も重要な兆候及び症状 応急措置をする者の保護 医師に対する特別注意事項</p>	<p>情報なし 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。 安静と症状の医学的な経過観察が必要である。</p>
<b>5. 火災時の措置</b>	
<p>消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性</p>	<p>粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水 棒状注水 火災によっては刺激性のガスを発生する恐れがある。 燃焼ガスには、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。</p>
特有の消火方法	<p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合には容器及び周囲に散水し冷却する。</p>
消火を行う者の保護	<p>消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立入りを禁止する。救助者は、状況に応じて適切な保護具(空気呼吸器、耐熱性防護衣)を着用する。</p>
<b>6. 漏出時の措置</b>	
<p>人体に対する注意事項、 保護具および緊急措置</p>	<p>直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 密閉された場所に立ち入る前に十分に換気を行う。</p>
<p>環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法・機材</p>	<p>河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。速やかに砂や土、タオル等を用いて拡散を防止する。</p>
二次災害の防止策	
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>	
<p>取扱い 技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項</p>	<p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い保護具を着用する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼に入れないこと。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 吸入又は飲み込まないこと。</p>
<p>保管 技術的対策 混触危険物質 保管条件</p>	<p>保管場所には本製品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 「10.安全性及び反応性」を参照。 容器を密閉して換気の良い冷暗所にて保存すること。 炎及び熱表面から離して保管すること。 施錠して保管すること。 直射日光、湿気は避け、通気の良い場所で密栓保管する。 酸化剤から離して保管する。 製品に使用している容器</p>
容器包装材料	

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		未設定
許容濃度	ACGIH	未設定
設備対策		本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。 特別な換気要求事項はない。
保護具	呼吸器の保護具	大量にミストを吸入する可能性のある作業環境においては、適切な呼吸用保護具を着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用する。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。包括的な化学飛沫用のゴーグル又は眼鏡、及び顔面シールドを着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	必要に応じて、液体が浸透しないものを着用する。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	無色
	臭い	ほぼ無臭
	pH	7.0～8.0
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点(°C)		非引火性
燃焼又は爆発範囲の上限・下限		データなし
蒸気圧		データなし
比重(25°C)		0.99～1.03
溶解度		水溶解性(任意に溶解)
自然発火温度(°C)		データなし
粘度(mPa・s)		1～10mPa・s

## 10. 安定性及び反応性

安定性		通常の条件下、法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。 圧力、温度変化によって、固結や結晶形の変形を起こす。
危険有害反応可能性		情報無し 危険有害性は無いが、酸とは容易に塩をつくる。
避けるべき条件		高温、日光、裸火、スパーク、その他発火源 強酸化剤との接触
混触危険物質		強酸化剤
危険有害な分解生成物		窒素化酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素

## 11. 共重合体に関する有害性情報

急性毒性	経口	ラットLD50値 技術指針による計算で得られたLD50 20752mg/kg以上に基づき区分5に該当とした。
	経皮	ラットLD50値 技術指針による計算で得られたLD50 88521mg/kg以上に基づき区分外とした。
	吸入	吸入(ガス): GHSの定義による液体である為、ガスでの吸入は想定されず分類対象外とした。 吸入(蒸気): 情報がない為、分類できない。 吸入(ミスト): 情報がない為、分類できない。
皮膚腐食性・刺激性		主成分は皮膚刺激性が低いという記述から、区分外とする
眼に対する重篤な損傷・刺激性		情報がない為、分類できない。
呼吸器感作性		情報なし
皮膚感作性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報がない為、分類できない。

発がん性	情報がない為、分類できない。
生殖毒性	情報がない為、分類できない。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	データがなく分類できない。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データがなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性	情報なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	情報がない為、分類できない。
水生環境急性有害性	主成分は容易に生分解がある為(OECD基準)区分外とした。
水生環境慢性有害性	データがなく分類できない。
残留性・分解性	情報がない為、分類できない。
生体蓄積性	情報がない為、分類できない。
土壤中の移動性	情報がない為、分類できない。
オゾン層への有害性	混合物としてのデータなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
焼却	アフターバーナー及びスクラバ付き焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、都道府県の許可を受けた専門の産業廃棄物業者に委託し廃棄すること。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 航空規制情報 UNNo. 海洋汚染物質	IMO/IMDGの規定に従う。 ICAO/IATAの規定に従う。 国連の分類に該当しない。 非該当
国内規制	陸上規制情報 海上規制情報 航空規制情報	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空法に定められている運送方法に従う。 「7.取り扱い及び保管上の注意」の記載に従う事。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、落下、転倒もしくは破損しないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行い運搬すること。 輸送前に容器が密閉されているか、又液やガスの漏れがないかを確認する。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。
特別安全対策		

## 15. 適用法令

毒劇物及び劇物取締法:	非該当	*化学物質排出把握管理促進法(特定化学物質の環境へ排出量の把握、管理改善の促進に関する法律)
PRTR法: *	非該当	
労働安全衛生法:	名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (政令番号 第219号): エタノール	
消防法:	非該当	
船舶安全法:	非該当	
航空法:	非該当	

## 16. その他の情報

本記載内容は現時点で入手可能な資料、情報データ、当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学物質には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。記載内容のうち、含有量、物理的性質等の値は保証値ではありません。また、特別な取り扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。使用前のテストを含め、当該製品の適正に関する決定は使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。